

# 「いろいろな 経験をするうちに 居心地のいい場所が 見つかる」



**ホテル人事担当者**  
吉村美紗子さん(29歳)

**Profile**

**Fusako Yoshimura**

株式会社ホテルオークラ東京 管理部 人事課

1980年生まれ。埼玉県・私立獨協埼玉高校卒業。語学が好きだったので、白百合女子大学文学部英語英文学科へ。放送研究会に所属し、部長も務めた。2003年に株式会社ホテルオークラ東京に入社。同社営業部宴会予約課にてウエディング・プランナーを経て現職。

撮影/小野 啓

**switch!**

**大学附属高から他大へ**

私の一番のswitchは、他大受験を決意した時です。自然に囲まれた大学附属の高校でのびのびと過ごしていたのですが、別の世界も見たくって都内の女子大を受験。進学後は100人以上が所属する部に入ってたくさんの人と出会ったり、テレビ局でアルバイトをしたりするうちに、何もかも違う世界で「もっといろいろ見たい! いろいろな人に会いたい!」と感じました。好奇心がわいて性格も積極的になりましたね。部活動を通して大きな企業で働いている人たちと話す機会もあり、私も将来はこんな風に働きたいというあこがれを感じました。

**switch!**

**ホテルか証券会社か**

社会でしっかりと働きたい気持ちが強かったので、就職活動は早めに開始。業界を絞らずいろいろな企業を回りました。「ここで働きたい」と思ったのが、ホテルオークラと、ある証券会社。どちらも面接の時の雰囲気よかったので迷いました。証券会社は金融商品を通してお客様とかかわりますが、ホテルなら長いスパンでお客様にか

かわっていきける。より難しいけれど成長できそうだと考え、当社を選びました。

**switch!**

**希望して管理部へ**

入社後、6年間結婚披露宴の現場で働いたあと、次はオークラを企業として見てみたいと考えて、管理部門を希望。人事課に異動となり、現在は採用と社内研修を担当しています。ホテルの商品は宿泊や宴会などですが、やはりヒトが勝負。婚礼の営業をしている時も「プランナーの対応がよかったから、オークラに決めます」とおっしゃるお客様がたくさんいらっしゃいました。だから今、就職希望者に「あなたたちがオークラの顔になるのです」ということを伝えながら、その難しさを乗り越えて頑張ってくれる人を探しています。簡単ではありませんが、やりがいのある仕事です。

私は8年勤めて辞めたいと思ったことが1度もありません。それは就職活動をするまでに、いろいろな経験をして、自分が何をしたいとどんな場所を居心地がいいと感じるかわかっていたからだだと思います。高校生のうちにいろいろなものを見てもらいたいですね。最初は迷ってもだんだんと絞られてくるはずですよ。